CAN青芸

ぼくのそばにはいつも君

ある日、公園のかたすみで、ふたりの子どもが出会います。あそびたいけどしらんぷり。かかわりたいけどかかわれない。なんとなく微妙な関係。すると、ひとりがペット自慢をはじめます。とってもカッコイイ犬なんだとか。ところが、その犬を呼んでみると、まったく言うことをきかない反抗的な犬なのです。「おまえなんか、どっかいっちゃえ！」とさけんでしまいます。次々とペットをつれてきても、なんかへんなペットたち。さぁ、ふたりはどうなるの？・・・そして、おかしなペットたちは？つげくわえとCAN青芸がおくる、おもしろくって、遊び心いっぱいのお芝居です。

作／演出	つげくわえ	出演者	浅野佳砂音、千島清
美術／衣装	神門やすこ、和田久美子	音楽	青木渉

子どもと芸術の出会いについて

子どもが文化に出会うということは想像力を育み、自分なりの表現を見つけられる様にするという事。それはアーティストになる為ではなく、豊かな人生を送る子どもの権利です。そして、子どもと演劇とがすばらしい出会いをする為には、つくる側と観る側の「おとな」が連携して、最良の条件を整えることが大切だと思います。そのすばらしい出会いのために、CAN青芸が目指すものは作品の想像性と劇場としての環境づくりです。

さぬきっずコムシアターは

1983年に「丸亀子ども劇場」として発足。2005年には、NPO法人化に先立ち現在の団体名に改名しました。
舞台芸術の鑑賞や、五感を使う遊び、また物作りなど、様々な創造性豊かな体験を通じて子どももおとなも共に学び、共に育ちあう活動に取り組んでいます。
2012年、活動拠点を大きな古民家に移し、その場を生かした多世代間のふれあいや、ともに助け合うみんなの居場所となる活動を展開しています。

わくわくドキドキ感動体験を！

みる

舞台劇や人形劇、コンサートに芸能…あらゆるジャンルのプロによる優れたステージを体験することで、感受性を育みます。

あそぶ

五感を使う楽しい遊び体験を通して表現力を養い「生きる力」を育みます。

つくる

工作や料理、おやつなどを作ったり絵を描いたり、自分の手で創りあげる体験をします。

伝える

機関誌「きっずコムレター」月1回発行。
「活動リーフレット」年1回発行。
HP.ブログ配信。
LINE@、フェイスブック、インスタ配信。

みんなの居場所

遊んだり、おしゃべりしたり、お食事したり気軽に集まって楽しい時間を過ごします。

- ●乳幼児親子のスペース　「コムコムひろば」
- ●幼児親子の居場所　「じゃんぷ♪くらぶ」
- ●小学生の居場所　「どっきん☆くらぶ」
- ●中高生の居場所　「テラ☆ティーンズ」
- ●おかあさんの居場所　「ママねっと」
- ●パパのサークル　「とっとコム」
- ●シルバーの広場　「エンジョイ・コムライフ」
- ●障がいのある方の居場所　「ハートフル・サロン」